

学級活動指導案

竹原市立竹原小学校

指導者 3年1組担任 伊藤賀世(T2)

養護教諭 長木照美(T1)

1. 日時 平成18年1月18日(水) 5校時
2. 学年 3年1組 (28名)
3. 題材名 「きれいで丈夫な歯」～歯みがき上手になろう～
4. 題材設定の理由

教材観

歯・口の健康は健康生活の基盤であり、高齢化時代をむかえて一層その重要性が増している。「8020運動」に代表されるように、生涯を通じて健康で豊かな生活を営もうとすることへの関心は高まっている。こうした中、乳歯から永久歯への転換期、永久歯の形成期において、児童の歯・口の健康づくりのための食生活や生活習慣を身につけることは今後ますます重要になってくると思われる。本教材によって、発達段階に応じた歯・口の学習を進め、健康への関心を高め、日常的な実践力を身につけさせていくことができる。

児童観

本学級の児童は、保健学習、学級活動(食や健康に関する指導)を通して、毎日を健康に過ごすためにはどうしたらよいか学んできている。保健学習の中で、健康で気持ちのよい生活をおくるために、歯みがきが手洗いなどの清潔と関連付けて考えられるようになってきている。事前アンケートでは、72%の児童が歯みがきが「必ずできる」、28%の児童が「ほとんどできる」と答えている。しかし、登校後の児童の口の中の様子を見ると、みがき残しや口臭があり、みがいているつもりでも十分には、みがけていない実態がある。それは、むし歯予防のために歯みがきをすることは知っていても、なぜむし歯ができるのか、そして歯みがきがなぜむし歯予防につながるのかについては十分理解できていないことに起因していると考えられる。そのために、日常行っている歯みがきがマンネリ化し、むし歯予防の歯みがきになっていない実態がある。

指導観

指導にあたっては、体育科における保健学習「毎日の生活とけんこう」と関連づけて自分の生活を振り返りながら、むし歯も生活のしかたが関係しておこる病気であることに気づかせたい。そして、むし歯菌が及ぼす影響を図などを通して知らせ歯みがきの重要性について認識させる。卵の殻を前日酢酸に漬けて置き、軟らかくなった殻を観察させ、酸によって歯がとがされていくことに気づかせる。そして、食後の歯みがきを終えている子どもに、歯を磨かせ、透明な水で歯ブラシを洗わせることによって出てくる歯垢を観察させる等の具体的な体験させながら、一本ずつ丁寧にみがくことの大切さに気づかせ、食後の歯みがきへの意識を高める。また、一週間後に歯みがき実践カードに記入させ、授業で習得した歯みがきの方法の定着を図りたい。

5. 指導の目標

むし歯発生のしくみを理解し、歯みがきの大切さを考える。

歯みがきをしたつもりでも、みがき残しがあることを実感させ、丁寧な歯みがきの方法を身につける。

6. 評価規準

むし歯予防のために丁寧に歯みがきをしようとしている。(関心・意欲・態度)

歯みがきの基本動作を身に付け、歯垢を効果的に落とすみがき方を身に付ける。(技能・表現)

むし歯発生のしくみがわかる。(知識・理解)

7. 準備物

歯ブラシ、コップ、手鏡、卵の殻、酢、水、ピーカー、実践カード、パネル、振り返りカード

8 . 学習過程

学習活動	学 習 指 導 と 支 援	教師の役割		評価規準【方法】
		T 1	T 2	
1 クイズを行い，本時の学習に意欲を持つ。	<p>歯のクイズを行い関心を持たせる。</p> <p>・子どもの歯と大人の歯，どちらがむし歯になりやすいか？</p> <p>子どもの歯 大人の歯 どちらも同じ生え始めの大人の歯もやわらかいのでむし歯になりやすいことに気づかせる。</p>	発問	児童観察	<p>興味を持って，学習に参加しているか。</p> <p>【観察・発言】</p>
2 卵の殻「酢」につけたままにしておくとうなったか予想させる。	<p>事前に卵の殻を「酢」と「水」につける実験を教室で実施し，つける前とつけた後の卵の殻の感触を体感させる。</p>	発問	児童観察	<p>酢につけておいた卵の殻はやわらかくなり，時間がたつと溶けてしまうことが理解できているか。</p> <p>【観察・発言】</p>
3 もし，卵の殻が，歯だったらどうなるかを考える。	<p>卵の殻と歯は同じカルシウムでできていることをおさえる</p> <p>卵の殻を歯に置き換えて考えさせる。</p>	発問		<p>卵の殻と同じ変化が口の中で起こったらどうなるか考えることができている。</p> <p>【観察】</p>
4 むし歯の発生の仕組みを知る。	<p>歯垢の中の細菌が出す「酸」によってむし歯が発生することを説明する。</p> <p>むし歯の出す「酸」の働きを卵の殻を溶かした「酢」の働きと重ね合わせて考えさせる。</p>	説明	児童観察	<p>むし歯発生のしくみが理解できているか。</p> <p>【観察】</p>
5 学習課題を確認する	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 上手な歯のみがきかたを考えよう。 </div>			
6 歯垢のたまりやすいところを発表する。	<p>次の4点をおさえる。</p> <p>歯垢のたまりやすいところ</p> <p>・歯と歯の間・歯ぐきのそば・奥歯のかみ合わせの溝・前歯のうらがわ</p> <p>歯垢のたまりやすいところは，歯みがきが難しくむし歯のなりやすいことを再確認する。</p>	児童観察	発問	
7 歯垢をとるためにどんなふうにみがくとよいか班で話し合う。	<p>話し合い後，歯型で実際にみがかせる。</p> <p>歯ブラシの毛先（つま先・かかと・わき）を使って小さく小刻みに動かしてみがくことの大切さをおさえる。</p> <p>ポイント</p> <p>・歯ブラシの毛先をみがく歯にまっすぐにあてる。（かがみを見てみがく。）</p> <p>・軽い力で小さく動かす（10回くらい）</p> <p>・歯の形や並び方は一人一人違うから工夫して歯ブラシを使う。</p>	机間指導	発問 机間指導	<p>歯垢を効果的に落とすことができる歯みがきの仕方を考えることができているか</p> <p>【観察】</p> <p>歯みがきの大切なポイントが理解できた</p> <p>【観察・発言】</p>

<p>8 しっかりブラッシングする。</p>	<p>鏡で歯垢のたまりやすいところを確認させ、歯型で歯ブラシの毛先を使い分けて丁寧にみがかせ。(前の歯, 奥歯) 歯ブラシでブラッシングし、透明なコップの水の中で洗い、食べかすが出てくる様子を観察させる。 必要な児童は、仕上げみがきによって援助する。</p>	<p>説明 児童観察</p>	<p>積極的に歯みがきをしようとしているか。 みがいたつもりでも食べかすが残っていることを実感できたか。 【実習・観察】</p>
<p>9 学習のまとめをする。</p>	<p>本時の学習の振り返りをさせる。</p>	<p>発問 児童観察</p>	<p>丁寧に歯みがきをしようとする意欲付けができたか。 【振り返りカード】</p>